

79GHz 帯高分解能レーダに関する実験試験局

免許人：（業界名・業種名等）

自動車業界

実験・試験の目的：

自動車の衝突を事前に察知し、衝突を防止するためにミリ波レーダが用いられている。2012年当時、国内ではレーダの分解能を向上させるために新たに79GHz帯を割当てする制度整備に向けた検討が進められていることを受け、79GHz帯レーダの実用化に向けて実験試験局免許を取得し、実際の交通環境下での物体検出性能の確認と技術的な課題の検討を行ったもの。

周波数帯、帯域幅、出力等：

中心周波数：79.0GHz

帯域幅：4GHz

空中線電力：10mW

実験試験局の電波利用範囲等：

○地方及び関東近郊の市内テストコース・一般道

○東名・新東名高速道路

実験・試験の概要

車両に無線実験機（79GHz帯レーダ）を搭載し、テストコース、一般道路、高速道路において性能の評価を行った。

実験試験局実施による成果やその後の状況（又は今後の計画）：

2016年12月に国内で79GHz帯をレーダへ割当てする制度整備が完了し、現在は本実験で得られた基礎データを基に79GHz帯レーダの実装に向けた検討が行われている。